

畦はそのまま



BASF
We create chemistry

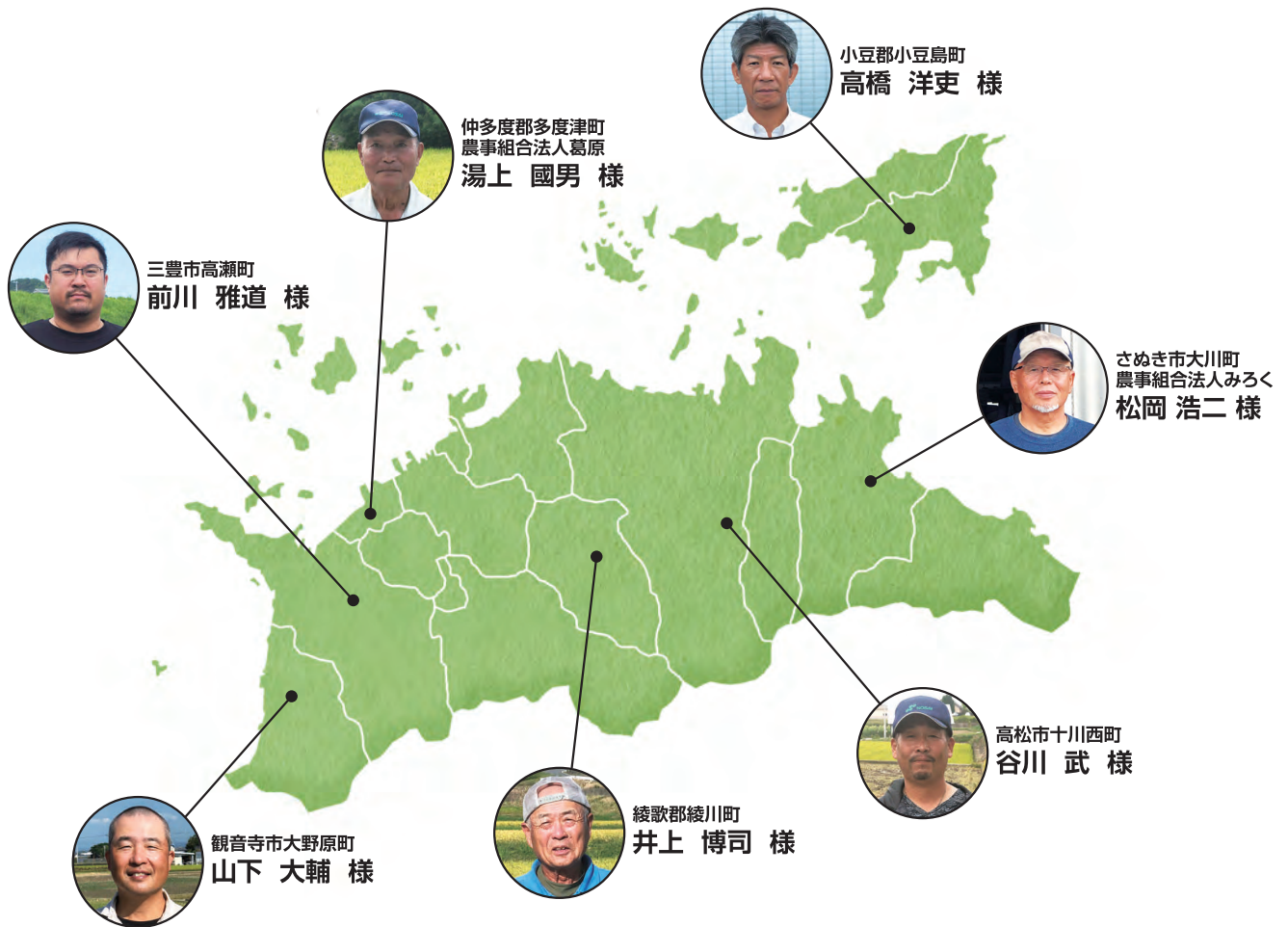
user's voice

草だけ枯らす



バスタ 液剤

私たち畦畔でのバスタ散布ははじめました。



大変な草刈りの作業回数を減らせると思います

さぬき市大川町 農事組合法人みろく
松岡 浩二 様(67歳)

プロフィール

- 2010年就農
- 主な栽培作物：水稻(12ha)、小麦(14ha)、ブロッコリー(3.5ha)、キャベツ(1.5ha)
- 水稻の栽培品種：コシヒカリ、あきさかり

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り(年4回ほど)

就農のきっかけ

当法人は地域の農業がこのままでは大変なことになるという思いで、平成19年に集落内の7戸の農家が集まってできた営農法人です。当初は会社勤めをしながら、土日の作業に参加していました。3年後の早期退職を機会に本格的に就農し、将来に残っていける組織づくりのため、当初6haぐらいの面積でしたが、徐々に規模拡大を進めて、今は25haぐらいの面積を管理しています。

営農での心がけ

買ってくれる人に喜んでもらえるように、おいしいお米を付加価値をつけて売っていきたくと思っています。最近では万田酵素さんの協力をいただき、「酵素米」という名称のお米を出しました。また、地域のみんなが元気で農業を続けられることも目標です。

バスタ液剤を利用した感想

畦に除草剤を使うのは、地面が濡れるからタブーという印象がありました。でも、去年バスタを使った生産者の方の意見を聞くと「大丈夫」という話で



したので、今年は私たちも試してみようということになりました。草刈りは大変な作業ですし、特に暑い時期の作業は減らしていきたいですね。今年バスタを使ってみたところ、草刈りの回数を1回は減らせると思いました。今後は最適な散布のタイミングも検討していきたいです。

今後の畦畔管理について

バスタは麦でも使っているので、水稻の畦畔でも継続して使う予定です。4月くらいに1回散布して、1か月後に続けて撒くか、1度草刈りを入れてその後を使うか、どちらかで試そうと思っています。草刈りだけの人件費と比べて、バスタを入れたほうがコストを下げられますね。



健康食品で有名な万田酵素の植物用酵素(特殊肥料)を使った「酵素米」。食味の向上で「おいしいお米」とお客様に好評を得ています。



手刈りに比べて作業時間が短くなりました

観音寺市大野原町

山下 大輔 様(46歳)

プロフィール

- 2008年就農
- 主な栽培作物：水稻(1.2ha)、青ネギ(2ha)、ブロッコリー(0.9ha)、レタス(0.5ha)、スイートコーン(0.2ha)
- 水稻の栽培品種：コシヒカリ、あきさかり

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り(年2~3回)

就農のきっかけ

私は京都出身で、家は農家ではありませんでしたが、中学生くらいから農業に魅力を感じていました。社会人になってからもその思いがあったので、30歳のときに会社を辞め、ご縁があり香川県の石川農園様で3年間研修をさせていただきました。その後、独立するにあたり、研修で培った技術と同じ香川県で活かしたいと思い、この地で就農しました。

営農での心がけ

水稻と園芸作物を含めて一つの農業と考えています。野菜作りのため、稲わらのすき込みや湛水による病害虫の軽減、連作障害の回避など、輪作の中に稲作を入れるメリットを大切にしています。

バスタ液剤を利用した感想

手刈りに比べて作業時間が短くなりました。やはり草を刈るほうが圧倒的に労力がかかるので、バスタを使うとかなり軽減されると思いましたね。畦の崩れも特に感じられませんでした。また、野菜畑ではスギナに困っていましたが、バスタはスギナによく効いて助かりました。



今後の畦畔管理について

まだまだ基盤整備されていない畦畔も多いので、そういった所にバスタを使っていきたいです。今年は雑草が少し伸びた状態でバスタを使いましたが、雑草の生え始めに散布してしまえば、後々楽かなと思うので、来年は散布のタイミングも考えたいと思います。



「出荷先は加工食品向けが多い」という山下さん。今後はさらなる出荷先の確保と、従業員の意識改革のため、GAP認証の取得を検討中とのこと。そして、将来は法人化も視野に入れていると言います。未来をしっかりと思える山下さんの力強い言葉が印象的でした。

バスタを散布した場所は一度も草刈りをせずに済みました

三豊市高瀬町

前川 雅道 様(30歳)

プロフィール

- 2015年就農
- 主な栽培作物：水稻(2.5ha)、ブロッコリー(3ha)
- 水稻の栽培品種：コシヒカリ

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り(年3~4回)

就農のきっかけ

26歳の頃に地元の三豊市に戻り、仕事を探そうと農業もいかなと思いついて就農しました。もともと祖父が酪農をしていましたし、実家が農家だったこともきっかけになりました。

営農での心がけ

就農してまだ4年目ということもあり、毎年試行錯誤を続けています。今年は初めて水稻で側条肥料を試してみましたが、一部で倒伏してしまいました。7月に雨が続いて中干も順調にできなかったことも原因の一つかと思いますが、来年は施肥量を調整して試してみたいです。

バスタ液剤を利用した感想

畦畔に除草剤を使ったのは今年が初めてです。使う前は「岸が崩れてしまわないか…」と、不安がありました。でも、実際にバスタを使ったところ、畦もそこまで崩れず、使って良かったと思います。また、作業時間を減らせたのは大きかったですね。去年まで4回も草刈りをしていましたが、今年は2回の薬剤散布で済みました。散布するだけなので作業も早く終わ



りますし、散布した場所は一度も草刈りをせずに済みました。

今後の畦畔管理について

農地面積を増やしているため、労力削減のためにもバスタを使っていきたいと思っています。



就農にあたり苦労したことは?という質問に、「農地の確保が一番難しかったですね」と話す前川さん。農地機構へ相談したり、時間をかけながら希望の農地を探したとのこと。その努力もあり、就農時から農地面積は「6町くらい増えた」と言います。将来は「水稻で10町くらいを目指したいです」と、さらなる規模拡大に意欲を見せます。

スギナなどの雑草もきれいに枯れて効果もすばらしいなという感じを受けました

仲多度郡多度津町 農事組合法人葛原
湯上 國男 様(79歳)

プロフィール

- 2001年に専業農家へ転向
- 主な栽培作物：水稻(20ha)、小麦(15ha)、裸麦(15ha)
- 水稻の栽培品種：あきげしき、おいでまい

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り(年4~5回)

就農のきっかけ

私はもともと兼業農家として農業に携わっていましたが、定年を機会に専業農家になりました。農事組合法人葛原は、地域の農家の高齢化が進む中、経営を共同にして効率化すればこの土地の農業を守っていただけるだろうということで、設立の機運が高まり、2008年に立ち上げました。

営農での心がけ

現在、香川県ではオリジナル米である「おいでまい」に力を入れています。令和元年産米の食味ランキングで、「おいでまい」は特Aを獲りました。私たちも「特Aを獲る」ことにこだわりを持ってこのお米に向き合っているので、基本的な栽培管理をしっかり行っていくことが大事だと思っています。

バスタ液剤を利用した感想

草刈りは本当に大変です。のり面が1mから1.5mくらいあるところは足場も悪く滑りやすいし、そこで草刈機を使うのは危険性もあります。それに1日8時間も草を刈る場合もあるんですよ。暑い日だと、それこそ熱射病になる人も出てきます。それに比べて、除草剤は安全に作業できていいです



ね。作業時間も草刈りから3分の1くらいに減らせました。今年バスタを使ったところは、スギナなどの難しい雑草もきれいに枯れてましたし、効果もすばらしいなという感じを受けました。

今後の畦畔管理について

来年はバスタを使う畦を増やすことを考えています。ただ、雑草が大きくなり過ぎると除草剤の効き目も難しくなり、草刈りが必要なところも出てくると思うので、早めに散布できるようにしていきたいです。



お話にも出たおいでまい。今年葛原では14haでおいでまいを作付し、そのうちの4haは種子用です。「特Aを獲るお米の栽培に誇りをもって取り組んでいます」という湯上さんの言葉に、おいでまいはもちろん、地元香川県への想いを感じました。

バスタは効果が早く出るので私に合ってます

綾歌郡綾川町
井上 博司 様(76歳)

プロフィール

- 2006年頃、定年退職を機に兼業から専業農家へ転向
- 主な栽培作物：水稻(14ha)、プロッコリー(1.5ha)など
- 水稻の栽培品種：コンヒカリ、おいでまい、あきざかり

昨年までの畦畔の雑草管理方法：バスタ液剤の散布と草刈り

就農のきっかけ

農業は親が携わり、私も昔から会社帰りや休日に農機を使い、手伝いをしていました。定年退職をきっかけに専業農家になりましたが、まだ15年も経っていないので小学生のようなものです(笑)。それでも、耕作をやめる人の土地を借り受けて面積を増やしていく中で、周りの方の勧めもあり、認定農業者の資格をいただきました。

営農での心がけ

作物を作るのは奥が深くて、やるたびに面白くて虜になってしまいます。試したことが上手くいけばいいけど、そうでなくても別のやり方を試そうと思える。年によって気象や温度などの条件が違うし、そこにも面白みを感じます。作物は手をかけた分、恩返しをしてくれる。作物は裏切らないですね。自分が満足できるようなものが作れるように、これからも勉強していきたいと思っています。

バスタ液剤を利用した感想

今年は暖かくて雨が多く、いつも以上に草が多かったので、去年より多く



バスタを使いました。今年のような暑い年は少しでも草刈りの回数を減らさないと、雑草の成長に作業が追いつかないです。バスタの使い方としては、雑草が小さいときにかけるのが理想ですが、忙しくて雑草が大きくなってしまったときは、バスタを撒いて、枯れた後に生えてきた雑草と一緒に刈り取りました。機械と除草剤の合わせ技です。また、バスタは効果が早く出ますね。私はせわしないほうですから(笑)、その意味でも一番合ってると思いますね。

今後の畦畔管理について

今後も使っていくつもりです。草刈りと除草剤を仲良く、うまく使って草を無くしていきたいです。



「農業はやるたびに面白くて虜になる」、「作物は手をかけた分、恩返しをしてくる」という言葉の通り、農業をとことん楽しんでいるご様子の井上さん。「農業についてはまだ小学生」と謙遜をされますが、バスタの畦畔管理をはじめ、新しい技術の導入に意欲的で、チャレンジ精神を忘れない姿が強く印象に残りました。

畦は崩さず雑草だけを枯らす 効果に感心しました

小豆郡小豆島町

高橋 洋吏 様(59歳)

プロフィール

- 1990年代中頃から農協職員としての仕事と並行して農業にも従事
- 主な栽培作物：水稻(0.5ha)
- 水稻の栽培品種：コシヒカリ

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り

就農のきっかけ

私は農協に勤めていますが、若い頃は農家の方がどのように作物を作っているかあまり知りませんでした。しかし、25年ほど前に冷夏で米不作となり、タイ米が主食米として流通する年がありましたが、その時にいつも食べているお米の大切さを実感し、自分でもお米を作ってみようと思いました。そして農家の方に田んぼを紹介していただき、それ以来、仕事をしながら稲作を続けています。

営農での心がけ

粒が大きくておいしいお米というのが理想ですが、肥料をあたえ過ぎると粒は大きくなるけど食味が落ちてしまうので、粒の大きさと食味のバランスに気を付けるようにしています。

バスタ液剤を利用した感想

昨年、別の除草剤を試しましたが、雑草の根を枯らすタイプだったこともあり、土手が崩れてしまいました。もう畦には除草剤は使用できないと思っていましたが、今回バスタを利用したところ、畦は崩さずに雑草だけを枯らす



ので感心しました。労働量も普通の草刈りと比べて全然楽です。生えっぱなしの雑草だと草刈りも大変ですが、バスタで一度枯らした後に生える草は簡単に刈ることができます。年2回くらいバスタを使えば、後の草刈り作業がかなり楽かなという気がします。効果を一番感じたのはスギナです。スギナがきれいに枯れるので、地域の方々は大変喜んでいました。「なんでスギナが枯れてるんですか?」って。

今後の畦畔管理について

バスタを畦畔に使う人は増えると思います。私たちが使いますし、使ったところも目立ちますね。省力化の手段として若い人を中心に広がっていくと思います。



稲作では十数年前から有機栽培に取り組む高橋さん。開始当初、有機肥料には牛糞を使用していましたが、「圃場全面に均等に撒かなければならないので、苦労した」と言います。今は牛糞に替わる有機肥料としてレンゲ草を採用し、水稻の作付前に植えたレンゲ草を緑肥として漑き込んでいます。「有機栽培は手間はかかりますが、体に優しいお米という特長をアピールできる。これからも続けていきたいです」と意気込みます。

バスタは畦が崩れることもなく 効果も良かったです

高松市十川西町

谷川 武 様(49歳)

プロフィール

- 2013年に兼業から専業農家に転向
- 主な栽培作物：水稻(10ha)、小麦(14ha)、ブロッコリー(1.2ha)
- 水稻の栽培品種：ヒノヒカリ、恋初めし、あきたこまち、にこまる

昨年までの畦畔の雑草管理方法：手刈り(年2~3回)

就農のきっかけ

もともと実家の農地で兼業農家をしていましたが、近所や知り合いの方から「農地を引き継いでもらえないか」と頼まれ、管理する面積が増えてきました。そこで専業でやろうかなと思いつき、42歳のときに専業農家になりました。

営農での心がけ

栽培で気を付けることは水管理です。最近はジャンボタニシが増えているので、被害を減らすために浅水管理を心がけています。しかし、ずっと浅水だと今度は雑草が発生してしまうので、タイミング等に気を付けています。

バスタ液剤を利用した感想

畦の草刈りは年に2~3回はやりますが、今年みたいな暑い年は大変です。でも除草剤を使うと地面が崩れてしまうということで、ずっと敬遠していました。JAからバスタを紹介されたときも半信半疑でした(笑)。試しに無難な場所で散布してみたところ、畦が崩れることもなく、効果も良かったです。夏場でも2カ月に1回ぐらいで散布したら、草刈りをしなくて



もそんなに気になりません。近所でも使う人が増えてきて、みんな畦の管理が楽になったと言っています。

今後の畦畔管理について

すでに来年のバスタを使う計画を立てています。草刈りは1回で終わりにして、その後は雑草が伸びはじめた頃にバスタを使うようにしようと思っています。やっぱり管理はやりやすいほうがいいですから。



「人と違う方法で、収量と品質共がいいものが採れるよう工夫したい」と話す谷川さん。お米の栽培品種も、皆さんから「おいしい」と言ってもらえるために、色んな品種を試してもらったそうです。今後は米と麦の二毛作のため、「明渠設備等の土壌改良にも力を入れたい」と語ります。

バスタ液剤 散布前と散布後

■さぬき市大川町 農事組合法人みろく 松岡 浩二 様 圃場



大変な夏の草刈り作業をバスタの散布に替えることで、労力とコストを減らせると思います。

■観音寺市大野原町 山下 大輔 様 圃場



手刈りに比べて作業時間が短くなりました。バスタを使うと労力はかなり軽減されると思いました。

■三豊市高瀬町 前川 雅道 様 圃場



去年までは4回も草刈りをしていましたが、今年の管理作業は2回の薬剤散布で済みました。散布した場所は一度も草刈りをやらずに済みました。

■仲多度郡多度津町 農事組合法人葛原 湯上 國男 様 圃場



バスタを使ったところは、スギナなどの難しい雑草もきれいに枯れてましたし、効果も素晴らしいという感じを受けました。

■綾歌郡綾川町 井上 博司 様 圃場

散布日：7月4日



散布後：8月4日



バスタは効果が早く出るののでいいですね。私はせわしないほうですから(笑)、一番合ってると思います。

■小豆郡小豆島町 高橋 洋吏 様 圃場

散布日：8月5日



散布後：8月28日



バスタで枯らした後に生える草は簡単に刈ることができました。
年2回くらいバスタを使えば、後の草刈りの作業がかなり楽になると思います。

■高松市十川西町 谷川 武 様 圃場

散布日：8月3日



散布後：8月18日



畦も崩れず、効果は良かったと思います。
草刈りは1回で済ませて、あとはバスタを撒くだけで問題なければ、その管理を続けていこうと思っています。



畦畔を崩さず安心

- バスタは薬剤がかかった地上部のみを枯らしめます。
- 雑草の根は地下に残るため草刈りと同程度の強度を保ちます。

難防除雑草に有効

- 畦畔から水田に侵入する雑草の防除に有効です。



アシカキ



キシウスズメノヒエ

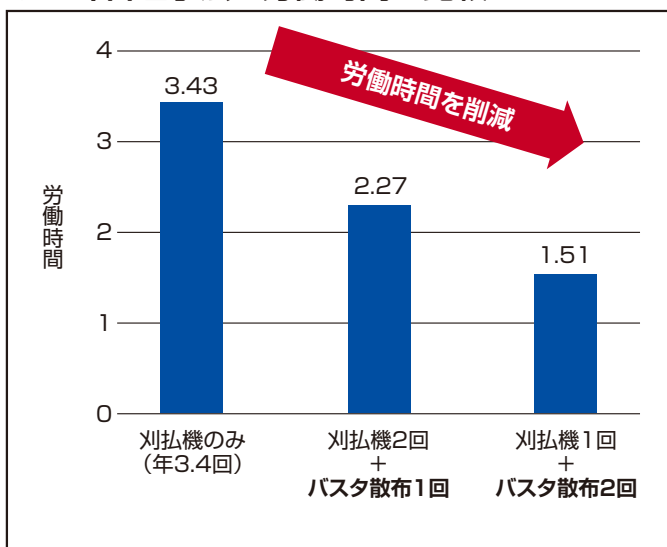


イボクサ

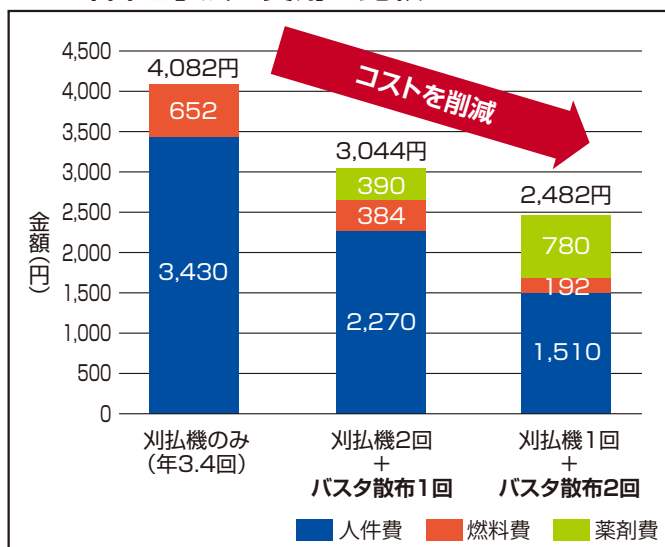
畦畔管理の費用対効果試算(例：広島県)

出典：平成22年畦畔管理省力化マニュアル
(広島県北部、西部、東部農業技術指導所)

●畦畔管理手法と労働時間の比較



●畦畔管理手法と費用の比較



- 各管理手法の1回の作業面積：年間の水田10aあたり畦畔面積100㎡と仮定して算出
- 1回あたりの作業時間 刈払機：1.01時間 バスタ散布：1回15分
- 人件費：時間あたり1,000円で試算
- 燃料代：混合油1時間当たり190円試算
- 薬剤費：1L@3,900円、10L/a散布 薬量100ml/aで試算

畦畔管理にバスタ液剤を取り入れることで、省力化とコスト削減につながります。

**バスタは
水田畦畔を
崩しません!**



「畦畔での上手な散布方法」



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2020年12月の知見に基づいて作成されています。